

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU

La Movado

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU

Fondita en 1951 N-ro 834 aŭgusto 2020

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
2-190, Sisaido, Tarami-tyô, Isahaya-si, Nagasaki, 859-0407,
MORIWAKI Yasumasa

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyô, Naruto-si,
Tokusima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

ENHAVO

漱石の『門』を訳して	土居 智江子 1-2
初心者のための語尾なし単語の使い方(90) ...	相川 節子 2
楽しい作文教室(108)	塚本 猛 3
Kajero Libervola: Provante esprimi malfacilajn aferojn facile — Pri pensado kaj agado	TAKEMORI Hirotoŝi 4
京都の入門講座	森川 和徳 5
対訳: 源氏物語 第21帖 少女(5) ...	紫式部 /belmonto 6-7
Bedaŭrata Bill Chapman kaj Harima Esperanto-Societo	TUKAMOTO Takesi 8
第107回日本エスペラント大会 la 3-a informilo ..	9-12
KOVIM-19 kaj buŝkovrilo	AIKAWA Setuko 13
keの用法(1)	沖 恵明 14-15
Kurantaj Vortoj	15
Salono: Konfidi aŭtor-rajton	Kelonio 16
La Movado: 九州大会、仏教聖典 web 公開等	16-17
Vortkruca enigmo	18
楽譜: Bondezirojn al vi	18
Mikspoto/KLEG 事務局だより	19
作文教室成績 / 課題	19
編集ノート	20

漱石の『門』を訳して

土居 智江子 (神奈川県)

関西エスペラント連盟の図書を担当しておられる
梁川隆俊さんから、なにか文学作品をエスペラント
訳してもらえないかと声をかけていただいたのは、
おそらく2018年だったと思う。「考えてみましょ
う」と返事をして、すぐに思いついたのは、夏目漱
石の小説を訳すことだった。漱石の作品は、西成甫
さんが『ロンドン塔』を訳されて1927年に初版が
日本エスペラント学会から発行された。その他に『夢
十夜』はエスクラピーダグループによって訳され、
1940年頃に*La Revuo Orienta*に何号かに分けて
発表されている。『吾輩は猫である』は中野繁夫さ
んの訳で1941年に、他にもいくつかの作品がエス
ペラントに訳され、雑誌などに発表されてきた。し
かし代表的な作品がエスペラントに訳されていない
のが私には不満であった。

漱石の作品といえば、中学や高校の国語の教科書
で多くの人は触れている。その多くは『吾輩は猫で
ある』や『坊っちゃん』である。『猫』も『坊っちゃん』
も親しみやすく、楽しい。しかし結構長い作品のご
く一部だけを教科書で紹介されて、多くの人にとっ
ては漱石はそれで終わってしまう。それではもった

いないと私は思っていた。

高校時代、私は特にクラブ活動には加わらなかつ
た。私の通っていた京都の公立高校には新築された
ばかりのきれいな図書館があった。私はその図書館
の部員となり、そこに入り浸っていた。図書部員は
本の整理や貸出業務の手伝いをする。その労力奉
仕の代わりに、本は何冊でも、無期限に借りられ
る。それが気に入って「よし、図書館の本を全部読
もう！」などとできもしない目標を立てた。最初の
頃に目をつけたのが岩波書店発行の『漱石全集』で
あった。教科書で教わる「漱石」ではなく、この全
集はおもしろかった。人生について正面から取り組
んだ作品が多く、高校生の私にはわからないことも
多かったが、とにかく一生懸命に読んだ。この漱石
全集のほぼすべてを読んだ。

1961年に大学に入学後、エスペラント研究会に
入部してエスペラントを学び始めた。先輩に教わつ
たのは最初の何回かだけで、あとは仲間たちと楽し
く勉強していた。3回生か4回生のときにみんなで
翻訳の勉強を始めた。選んだのは漱石の『硝子戸の
中』だった。誰がその本を選んだのか覚えていない

が、私だったかもしれない。おそらく1週間に一度、1ページほどを訳して持ち寄ったように思う。当時の辞書には今のような詳しい説明もなく、*Plena Vortaro* は小さい文字で、今ではとても読めないだろう。でもそんな環境の中でも、翻訳は楽しい作業だった。仲間たちの語学の実力はそれほど差がなかったが、それぞれに特徴がありおもしろかった。文法にとても強い人がいたり、また非常に感覚的な文を書く人もいた。私はそれほど文法を的確に把握していなくて、気ままに書いていたが、情緒あふれる文も書けずにいたので、この共同作業は感心したり、反省したりで、実りの多い学習だったと思う。一つの文が全く同じエスペラント訳になることは殆どなかった。文には個性が表れる事がわかった。英語の学習では「翻訳」ではなく「英作文」しかしたことがなかったので、エスペラント訳という作業は実に楽しいことだった。

その後、卒業し、就職、結婚、年子の子どもたちを育てている間は時間の余裕がなく年月が過ぎていった。時々所属していた横浜エスペラント会の機関誌に童話などを翻訳していたが、1冊の本をエスペラント訳したのは2002年の『もの食う人々』(辺見庸著)が初めてで、その後2010年の『沈黙』(遠

藤周作著)が2冊め、今回の『門』(夏目漱石著)は3冊めになる。前の2冊よりも、日本語自体が難しかった。漱石独特の文体との格闘であった。しかし今は昔に比べるとインターネットの普及により、調べるのがうんと楽だ。意味がわからず、ネットで調べると、そのような使い方は漱石の文の例しか出てこない、ということも多かった。でもなんとか意味を理解し、エスペラントに置き換えた。翻訳作業は結構楽しく、はまり込むと抜けられなくなるので、家事をしたり、エスペラントを教えたりなどの合間に、時間を決めて少しずつ訳した。『門』の翻訳を始めたのはポルトガルで開かれた世界大会に参加しているときで、飛行機の待ち合わせの時間などにノートに少しずつ訳をし、帰ってから入力をした。途中で他の用事が入り込み1年近く休んでしまうこともあったが、なんとか終わりにたどり着き、今は割付と訂正を行っている。7月には発行できる予定である。読んでいただければ幸いです。

(編集部より)

『門』のエスペラント訳“Pordego”は、第68回関西エスペラント大会の記念品として参加を申し込んだ方に送られます。

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (90)

相川 節子

相関詞 (22) tie (続き)

相関詞の -e グループは副詞語尾と同じ形をしていますし、意味の上でも副詞なので、-e が副詞語尾のように見えます。でもこれらは、全体が語根と考える方がいいでしょう。ti- や ki- と e を切り離してしまうと、場所を表すという機能がわからなくなってしまうからです。

また tie は、形容詞語尾の -a をつけて tiea という形で使われることがあります。「その場所の」という意味です。

Kiam vi vizitos la urbon, kontaktu tiean Esperanto-grupon.

(その町に行ったら、そこのエスペラント団体に連絡をとってください)

こういう使い方を見ても、tie 全体が語根と考え

るのが合理的です。

相関詞 (23) ie

「どこかに」「どこかで」の意味をもつ単語で、日本語話者にとって難しくはありません。

Oni diras, ke jetio vivas ie en Himalajo.

(イエティはヒマラヤのどこかに生息しているという噂です)

余談ですが、jetio はわたしの手元にある辞書に載っていません。しかし Wikipedia (エスペラント版ウィキペディア) にはちゃんと項目があり、ていねいな説明もあります。jetio は未確認生物ですが、実在する動植物の名前の場合でも、辞書にはないが Wikipedia なら見つかる、ということがあります。

話は戻りますが、ie の場合も他の -e グループの相関詞同様、移動の方向を示す対格語尾がつきます。古い話で申し訳ありませんが、1960年代にヒットした流行歌「遠くへ行きたい」のタイトルが、小西岳さんのエスペラント訳では“**Ien for**”となっています。



①若者たちの死亡率はそれほど高くない。

【訳例 1】 La mortoprocento de junuloj ne estas tiel alta. (Drako, Eiko)

【訳例 2】 Mortoprocento de gejunuloj estas ne tiel alta. (ヒー坊)

【訳例 3】 La mortoprocento de gejunuloj ne estas tiel alta. (Haveno)

「若者たち」は、junuloj(若者たち)が使えるでしょう。辞書 PIV では、junulo を viro juna (若い男性)としていますが、接尾辞 -ul は性別を示しません。女性であると明示する junulino と対比した場合に、男性の意味が出てくるのだと思います。接頭辞 ge- は男女両性の一組や、男女の親族などに使います。性別を明示していない語に ge- を使うと、性別が単独ではないと特記する感じができます。性別に関わらないようなら ge- は不要です。性別を明示しない語には infanoj(子どもたち)や lernantoj(生徒たち)、gastoj(客たち)、japanoj(日本人たち)などがあります。

「それほど」には、tiel, tiom da, malpli, ne tre などが考えられます。「それほど高くない」という打ち消し表現ですから、訳例のように ne tiel alta や、ne tre alta といえるでしょう。

②新症例は減少しているように見える。

【訳例 1】 Novaj kazoj ŝajnas malpliigi. (Drako, Celejo, Eiko, Haveno)

【訳例 2】 Novaj kazoj ŝajnas malmultiigi. (ヒー坊)

【訳例 3】 Ŝajnas, ke novaj kazoj malpliigas. (Ivajo)

「症例」には kazo(格、訴訟、症例)が使えます。「減少する」はいろいろな言い方があります。malpliigi, malmultiigi, malkreski, reduktiigi(縮小する)などが考えられます。「見える」は、見た感じでそう判断出来る、そのように思えるという意味で使っています。ŝajni(様子である、らしい)が使えるでしょう。減少しているのは新症例の数なので、la nombro de novaj kazoj ŝajnas malmultiigi のようにも表現できると思います。副詞の ŝajne(見たところ)を使ってもいいでしょう。

③それらの統計は現実を反映しているか。

【訳例 1】 Ĉu tiuj statistikoj spegulas la realon? (CA, ikona)

【訳例 2】 Ĉu la statistikoj spegulas la realon? (Celejo)

「それら」は、複数形の指示代名詞ですから、「それらの」には指示形容詞で tiuj(それらの)が使えるでしょう。訳例 2 は la を使っています。これは、前出の症例に関する統計についてだということが、容易に分かると考えてのことでしょう。「統計」は、ある集団の要素の分布や特性を計算して数量的に表したものですから、statistiko(統計データ、統計)で表現できます。この単語は統計学の意味で使う事もあります。

「現実」は reala(現実の)や efektiva(実際の)から realo(現実)や efektive(実際に)が使えるそうです。realeco(現実性)は少し違う感じがします。「反映する」は speguli ion(反映する)、reflekti ion(反射する)が考えられます。

④何ものもこの減少が続くことを証明しない。

【訳例 1】 Nenio pruvas, ke ĉi tiu malkresko daŭros. (Drako, Ivajo)

【訳例 2】 Nenio atestas, ke ĉitiu malkresko daŭras. (CA) 解説

【訳例 3】 Neniu pruvas ke tiu ĉi malkresko daŭros. (ヒー坊)

【訳例 4】 Nenio pruvas la daŭrigon de la malpliigo. (Celejo)

「何もの」を「何物」ととるか「何者」ととるかで、nenio(なにも～ない)か neniu(だれも～しない)のどちらを使うか決まるでしょう。題意の解釈で、「減少し続けるという証拠は何もない」と「減少し続けると証明する人はいない」とのどちらを取るかですね。翻訳調なので元の文章を推測しやすいのですが、やはり違いがでます。

「この」は ĉi tiu ですね。ĉi と tiu は離して書きます。「減少」は前出の動詞を名詞化して使えるでしょう。あるいは「引き続き減少する」と考え直して plu(引き続き) + 動詞で表現することも考えられます。「減少」を「現象」の漢字変換ミスと考えた解答もありました。「証明する」は pruvi ion(証明する)や atesti ion(証言する)、demonstri ion(論証する)が考えられます。

成績と新しい課題は p.19

Virusa infekto

La nova koronaviruso disvastiĝas tra la tuta mondo. Tio ankaŭ limigas eĉ la banalajn aferojn, kiuj kutime estas en ĉiutago. Amasa kunveno limigis kaj vojaĝoj trans kelkaj gubernioj limiĝis. Trinkejoj, restoracioj kaj manĝejoj estis libervole fermitaj pro la homamasoj en la fermita spaco. Perdo de rilato inter homoj kaŭzas grandajn financajn perdojn por manĝejoj kaj vojaĝagentejoj. Kaj la situacio koncentriĝas al malfortuloj, kiel studentoj, eksterlandanoj kaj maljunuloj. Post ĉio, la nunaj mezuroj baziĝas sur la supozo, ke vi eble infektis viruson, aŭ mi eble infektos, kaj ni faras paŝojn por preventi unu la alian. Mi pensas, ke ĉi tio estas tre malkvieta situacio.

Malkonsento

Antaŭ la viruso, mi pensas, ke konflikto, diskriminacio kaj antaŭjuĝo karakterizis la mondon. Mi sentas, ke ĉi tiu tendenco akcelas. Ĉiam oni diris, ke gravas paroli kun homoj, kiuj malkonsentas kaj fari konkludon post interparolo, sed tia idealo estas sufiĉe malfacila en la realo. Ĉu eblas atingi konsenton inter homoj kun malsimilaj opinioj dum la diskuto kaj solvi la problemon? Lastatempe ŝajnas, ke multaj homoj emas rezigni pri dialogo kaj ne pensi por si mem.

Rigardu reen sur la vivon

Kiam okazas grava katastrofo aŭ grava socia ŝanĝo, niaj valoroj kaj vivmaniero estas reekzamenitaj, kaj estas tempo zorgi pri kiel vivos homoj. Mi pensas, ke nun estas tempo por la ŝanĝo.

Ni kunekzistas kun la naturo kaj deziro

Homoj estas lertaj kreitaĵoj, sed ni devas

senti, ke ili kunvivas kun aliaj kreitaĵoj kaj tio estas, ke ili estas savitaj de la graco de la naturo. Aliflanke, mi pensas, ke ni devas vivi kun deziro. Mi ne pensas, ke ni devas rezigni niajn dezirojn, ekzerci nin kaj fariĝi Bodisatvo aŭ Budho. Ĉiuj volas babili, vojaĝi kaj manĝi kun amikoj.

Necesa diskuto

Oni kredas, ke necesas komuna fundamento de kugno kaj pensado por paroli al homoj kun malsamaj opinioj. Mi ne volas paroli kun tia prezidento, kiu nomas la novan viruson kiel ĉina viruso kaj incitas la disputon, aŭ kun tia diktatoro, kiu amas raketajn fajrajn ludojn en najbara lando. Mi ne povas paroli kun ili. Sed tamen necesas dialogo. Neado de dialogo kondukas nur limitan konkludon.

Traduko per artefarita inteligenteco

Google-traduko fariĝis tre utila antaŭnelonge. Ĉi tiu manuskripto ankaŭ uzas ampleksan uzon de *Google-Translate*. Mi ne estas spertulo, do eble miskompreno, sed AI (artefarita inteligenteco) traduko ne uzas faman kaj potencon superkomputilon. Ĉi tio atingas simuladon de la funkcio de homaj cerbaj neŭronoj nomata profunda lernado per matematika modelo. Ĉi tiu principo estas vaste aplikata al multaj homoj en diversaj kampoj. Ĝi uzas provon kaj eraron por fari la ĝustajn tradukojn, uzante matematikajn modelojn disponeblajn por ĉiuj. Mi ne scias la efektivan situacion, ĉu provo kaj eraro estas aŭtomataj, duon-aŭtomataj aŭ tute laŭ manlibro. Sed tio signifas, ke la klopodoj de homoj speguliĝas. Ankaŭ la granda kvanto da informoj en la interreto ne nature aperas sur la ekranoj de komputiloj kaj poŝtelefonoj. Multaj homoj senĉese enigis informojn en la reto. Oni povas diri, ke la *Google*-traduko kaj informoj de en la interreto estas faritaj per homa bonintenco kaj penado.

京都の入門講座

森川和徳（京都府）

京都の貸会議室エスペラント会館（京都市下京区）を利用し、2011年から今年まで10回の入門講座（講習会）を開催しました。毎年、毎週土曜日10:00～12:00の講習を6週～10週継続。10年間で、受講生は合計で27人（平均2.7人）、京都エスペラント会への入会者は合計11人でした。この10年間の経験から考えていることを述べたいと思います。

エスペラント会館への謝意

京都市には安くて借りやすい貸会議室がほとんどありません。エスペラント会館を利用できるので、講習会場について悩むことがありません。まずは、エスペラント会館にお礼を述べたいと思います。

講習会はエスペラント学習の入口

インターネットの普及により、言語学習アプリによるエスペラントの独習が話題になっています。しかし、エスペラントはヨーロッパの言語であり、日本語とは文字・単語・文法などが異なる言語です。英語やフランス語と比較すれば、学習はかなり容易ですが、日本人の大多数にとって、日本語と似ていない言語を独習するのは大変難しいことです。私自身は大学時代にエスペラントのサークルで学びました。私は集中力が乏しいので、もし私がエスペラントを独習したとしても、途中で投げ出したことでしょう。講習会やサークルでは、受講生や会員がお互いに励ましあうことから学習を継続することができます。

講習会をエスペラント学習の重要な入口として捉え、各地のエスペラント会が講習会を開催されることを期待します。

各地のエスペラント会の活発化

各地のエスペラント会を活発化させるためには、講習会を通して新しい会員が入会することが一番です。しかし、会員を増やすのはそう簡単ではありません。京都エスペラント会では正会員（京都でLa Movadoを購読）約30人を何とか維持していますが、もしも入門講座を行っていなければ、会員数は今ごろ20人に減っていたかもしれません。

『ドリル式エスペラント入門』

2011年と2012年の京都での入門講座（講習会）

La Movado 834

ではテキストとしてLa Unua Kursolibroを使用しました。内容が豊富なテキストですが、そのために受講生に理解してもらうためには、内容説明のための副教材を作成せざるを得ず、これが講師として大きな負担となりました。しかも10回以下の講習会では最初の部分しか修了できず、受講生はエスペラントの全体像をつかめずに終わっていました。

2013年にドリル式エスペラント入門（以下、ドリル式）が公開され、誰でも自由に入手できるようになりましたので、2013年以降は、入門講座にドリル式を活用しました。

京都ではPDFファイルから街のプリント店で印刷し、B5判の小冊子にしています。

ドリル式は、JEI（日本エスペラント協会）研究教育部ドリル式教材担当グループが制作しました。当初の用途は、講習会を欠席する受講生のための自習用です。ページの左側に文法の説明があり、右側に穴埋め式の練習問題があるという構成で、誰でも練習できます。

その1（44課）、その2（46課）、特別編（11課）の3つに分かれており、合計101課あります。フランス語がわかる受講生の場合、2時間×10回の講習で終了することもできました。

講習会を欠席した受講生がいても、受講生に自宅で学習してもらうことができます。

そして、講師にとってもあまり準備がいらぬのも特徴です。受講生と一緒にテキストを進めていけば、初級修了者でもドリル式のガイド役となることができます。

ウェブ会議システムによる講習会

エスペラントを勉強したいが、決まった日時に講習会会場に来れないという方々は多いと思います。そういう方々のために、ZoomやGoogle meetなどのウェブ会議システムにより、オンラインで講習を受けてもらえます。どのシステムを選ぶかは参加者によります。Zoomは最もよく使用されていますし、Google meetはGmail（Googleのメールサービス）利用者には操作が使いやすくなっています。Gmail使用者が多いため、京都では毎週月曜日19:30～20:30の講習はGoogle meetを利用しています。

今後は、このような形態の講習会が増えていくと思います。

El “Rakontaro Genĝi”, 11-a jarcento

21 Dancistinoj – Wotome – (5)

源氏物語 第21帖 少女をとめ

eljapanigis belmonto

7) la tago de la universitata ekzameno

Kiam Vespera Nebulo iris al la universitato por ekzameniĝi, kolektiĝis sennombraj ĉaroj de *kamdatimoj* ĉirkaŭ la enirpordego. Ŝajnis, ke preskaŭ neniu restus en la mondo. Dum la junulo eniris, zorgate eksterordinare kaj ordigate per bona fasono, lia figuro nobele brilis kaj ne estis konforma al aliaj malriĉaj studentoj. Same kiel la antaŭa okazo nefajne vestitaj profesoroj sidiĝis sen ordo, ĉe kies lasta vico li sidiĝis, kaj li sentis honton tute kompreneble. Ankaŭ tie estis malbele riproĉantaj skoldantoj, kiuj donis al li malagrablon, dume li tralegis la librojn ĝis la fino eĉ sen timemo. Estis la epoko, kiam prosperis la universitato kiel en la antaŭa tempo, kaj konkure svarmis al ĉi tiu vojo ĉiuj homoj altrangaj, mezrangaj kaj malaltrangaj. Tial do, aperis multaj talentaj kleruloj en la socio. Vespera Nebulo facile sukcesis en la ekzameno kaj en aliaj, kaj komencis entuziasme studi pli profunde kun profesoroj estiel la disĉiplo. Ankaŭ en la domo de la Ministro *Genĝi* oftis kunvenoj por fari poezion, kaj profesoroj kaj kleruloj estis tute fieraj. Estis la epoko, kiam talento en ĉia studo kaj arto estis agnoskita.

8) la *nio*go Mumeo fariĝas Mikadino

Nun venis la tempo decidi Mikadinon al la Mikado.

“La plej konforma sinjorino estas la *nio*go Mumeo, la antaŭa Diserva Princino. Visterio, la patrino de la Mikado, rekomendis ŝin kiel lian prizorganton.”

La Ministro *Genĝi* opiniis kun ŝia firma

大学に参りたまふ日は、寮門(れうもん)に上達部の御車ども数知らず集(つど)ひたり。おほかた世に残りたるあらじと見えたるに、またなくもてかしづかれて、つくろはれ入りたまへる冠者(くわぎ)の君の御さま、げにかかるまじらひには堪へずあてにうつくしげなり。例の、あやしき子ども立ちまじりつつ来みたる座の末をからしと思すぞ、いとことわりなるや。ここにても、またおろしののしる子どもありて、めざましけれど、すこしも臆(おく)せず読み果てたまひつ。昔おぼえて大学の栄ゆるころなれば、上中下(かみなかしも)の人、我も我もこの道に心ざし集まれば、

いよいよ世の中に、才(ざえ)ありはかばかしき人多くなんありける。文人擬生(もんになぎさう)などいふなることどもよりうちはじめ、すがすがしう果てたまへれば、ひとへに心に入れて、師も弟子(でし)もいとどはげみましたまふ。殿にも文(ふみ)作りしげく、博士(はかせ)才人(さいじん)どもとこころえたり。すべて何ごとにつけても、道々の人の才のほど現(あら)はるる世になむありける。

かくて、后(きさき)みたまふべきを、

「斎宮の女御をこそは、母宮も後見(うしろみ)と譲りきこえたまひしかば」

と、大臣もことつけたまふ。源氏のうちしきり后にみたまはんこと、世の人ゆるしきこえず。弘徽殿(こうきでん)の、まづ人より先に参りたまひにしもいかがなど、内(うち)内に、こなたかなたに心寄せきこ

konfido, sed oni ne povis facile akcepti lian aserton, pro ke koncernato de la mikada familio fariĝas Mikadino serie dufoje, ne de la familio *Fudifara**¹.

“*Niogo Kokiden**² eniris la Palacon unuavice, kaj kial oni ne akceptas ŝin?”

Subtenantoj de ambaŭ flankoj zorgis en sia koro ĉagrene. La antaŭa *Fjaŭbukjaŭ* nun fariĝis *Ŝikibukjaŭ**³, kaj prosperis en la konfido de la Mikado en ĉi tiu tempo. Li konservis deziron enpalacigi sian filinon, kaj tio estis plenumita. Ŝi estis la *niogo* el la imperiestra familio, same kiel Mumeo.

“Kvankam ambaŭ estis el la mikada familio, ĉi tiu havas pli densan sangan rilaton al Visterio. Ŝi jam forpasis, do ĉi tiu estos pli deca virino kiel prizorganto.”

Flankuloj de *Ŝikibukjaŭ* tiel asertis, kaj okazis diversaj argumentoj konflikte. Finfine, la *niogo* Mumeo stariĝis kiel la Mikadino. Oni diris kun miro, ke ŝia feliĉo estas pli supera ol tiu de la patrino*⁴.

9) promociiĝas *Genĝi* kaj la *Dajŝaŭo*

La Ministro *Genĝi* promociiĝis al la Ĉefministro, kaj la Dekstra *Dajŝaŭo* al la Meza Ministro. *Genĝi* cedis realan politikan potencon kaj lasis lin regi la mondon. La karaktero de la Meza Ministro estis serioze strikta kaj luksa, kaj li estis lerta en zorgado pri ĉio. Li multe studis diligente, kaj estis talenta en la politiko, tamen li estis venkita de *Genĝi* en la ludo rimkaŝo. Li generis dek kelkajn filojn de multaj edzinoj, kaj unu post alia ili maturiĝis kaj fariĝis bonaj oficistoj; tiel prosperis lia familio ne malsupere ol tiu de *Genĝi*. (daŭrigota)

ゆる人々、おぼつかながりきこゆ。兵部卿宮と聞こえしは、今は式部卿にて、この御時にはましてやむごとなき御おぼえにておはする、御むすめ本意(ほい)ありて参りたまへり。同じごと王女御(わうにようご)にてさぶらひまふを、

同じくは、御母方(ははかた)にて親しくおはすべくにこそは、母后のおはしまさぬ、御かはりの後見にことよせて、似つかはしかるべく、とりどりに思し争ひたれど、なほ梅壺(むめつぼ)みたまひぬ。御幸(さひは)ひの、かくひきかへすぐれたまへりけるを、世の人驚ききこゆ。

大臣(おとど)、太政大臣(だいじょうだいじん)にあがりたまひて、大将、内大臣になりたまひぬ。世の中の事もまつりごちたまふべく、ゆづりきこえたまふ。人柄いとすくよかに、きらきらしくて、心もちみなどもかしこくものしたまふ。学問をたててしたまひければ、韻塞(みんふたぎ)には負けたまひしかど、公事(おほやけごと)にかしこくなむ。腹々(はらばら)に御子ども十余人(じふよにん)、大人(おとな)びつつものしたまふも、次々になり出でつつ、劣らず榮えたる御家(いへ)の内なり。(つづく)

*1 la plej prosperanta nobela familio en tiu epoko.

*2 filino de la Dekstra *Dajŝaŭo*.

*3 pli aĝa frato de la forpasinta Visterio, kaj la onklo de Mikado.

*4 = sinjorino de *Rokudeŭ*.

Bill Chapman**kaj Harima Esperanto-Societo**

TUKAMOTO Takesi (Hyôgo)

Bill Chapman venis al Japanio du fojojn en 2019 por la ĝemeliĝo de la du kasteloj *Conwy* en Kimrio (*Wales*) kaj *Himeĵi* en Japanio. Ni povis akompani lin en liaj liberaj horoj. Li estis tre amikeca kaj iam eĉ aminda.

Kiam mi ricevis la plusenditan retmesaĝon de *Bill Chapman*, li serĉis kontakton en *Himeĵi* kun lokaj Esperantistoj. Mi respondis, ke Harima E-Societo kune kun *Kobe-E-Societo* povos akcepti lin. Harima E-Societo havas membrojn en la urbo *Himeĵi* kaj proksimaj urboj, kiuj estis iam en la provinco Harima. Kredeble tiuj, kiuj ne scias la historion, ne povas ligi la du nomojn. Jen surprize al mi, li pardonpetis la nescion pri geografio. Li diris, ke li volas uzi la okazon por lerni nian landon kaj la tradiciojn. En ĉiu mesaĝo el li kuŝis zorgoj, li ne volis ofendi iun eĉ pro nescio.

En januaro, je lia unua vizito al *Himeĵi*, post tagmanĝo li prelegis pri Kimrio en Esperanto antaŭ 15 personoj. Li parolis ankaŭ pri si mem kaj pri sia familio, pri sia amata edzino *Pat*. En la kimra li simpatie kantis kanton. Post la prelego ni havis simplan ceremonion. Oni metis teleron kun kukoj antaŭ li. Laŭ la gvidantino, li devas movi unu el ili sur blankan paperon per du bastonetoj. Uzi bastonetojn estis la unua sperto por li, tamen li provis, kaj sukcesis teni ĝin inter du bastonetoj. Li ŝajnis fiera kiel infano kiu plenumis ion unuafoje. Ankoraŭ restis provo. Eble li volis manĝi dolĉaĵon kun amara teo. Sed ŝi ne permesis trinki ĝis li formanĝis la kukon. Li toleris trinki amaran teon sen dolĉaĵo. Kaj plie li provis pretigi pulvoran teon sub la gvidantino. Kiel bonkora li estas! Lia milda kaj amika sinteno impresis nin.

En junio, mi ricevis retmesaĝon, kiu raportis pri lia sanstato. Kuracistoj trovis

tumoron en lia dekstra brusto. Li estis portita al hospitalo, ĉar li sputis grandan kvanton da sango. Nun la kriza momento finiĝis. Li estis sub kemia terapio. Kaj li diris, "mi ne forĵetis la planon reveni al *Himeĵi* en oktobro".

Ni kunsidis por konsiliĝi, kion ni povas fari por li, li loĝas tre fore. Kaj ni decidis, ke ni sendu al li "Senbazuru" (mil grupojn) kiel simbolon de longa vivo. Almenaŭ ni povos montri, ke li estas nia kara amiko. Ni ĉiuj faldis paperajn grupojn kun deziro al li resaniĝon. Ni sendis ilin en pakaĵo kun kuraĝigaj mesaĝoj. Oni menciis pri *Bill* kaj pri la *Senbazuru* sur la loka ĵurnalo "*Kobe-Shinbun*".

Li sciigis nin, ke la fakulino estas tre kontenta pri lia progreso, ŝiaj vortoj kuraĝigis lin. Post ricevo de la pakaĵo, li dankis nin, ke ni pensis pri li. Al li plaĉis kaj la grupoj sur ŝnuroj kaj la "sendependaj" grupoj. Ni fariĝis iom trankvilaj, ke li iom resaniĝis kaj ĝoje akceptis nian donacon. Poste, artikolo pri *Bill* kaj la mil grupoj kun fotoj aperis en la retpaĝo de lia regiona ĵurnalo "*Daily Post*".

En oktobro, *Bill* revenis kun *Pat*. Ni aranĝis te-kunvenon ĉe restoracio en *Azuki-Muzeo*, vere muzeo pri azukio. Li ŝajnis iom laca, tamen li eĉ provis vikle kanti, kiam li aŭdis la nacian himnon de Kimrio. Kaj li diris, ke li ne kontraŭas naciismon, se la homoj diras, "mi fieras pri mia lando, sed mi ne malamas vian landon". Certe, li estis justa homo.

En la sekvanta tago sub serena vetero, ili aperis en la 24a Amikeca Festivalo de *Himeĵi*. Tiama urbestro kaj konsilantoj de *Conwy* bonvolis viziti nian tendon. Poste ankaŭ *Pat* kaj *Bill* venis, iomete ripozis sur seĝo en la tendo. Fine, la 31an de oktobro ni ekskursis al Kameoka, kie situas la centro de Oomoto. Tie ni, grupo de 23 ekskursanoj, povis pasigi amikecan kaj ĝojan tempon.

Ni sincere kondolencas la familion. Ni sentas nin tre honoraj, ke ni povis esti amikoj kun *Bill*.



La Tria Informilo

第107回日本エスペラント大会 (名古屋市)

La 107a Japana Esperanto-Kongreso (Nagoya)

日時：2020年9月20日（日）・21日（月祝）・22日（火祝）

会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）4階ホール・11階会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
名古屋駅（JR・名鉄・近鉄）から徒歩5分

主催：（一財）日本エスペラント協会・第107回日本エスペラント大会名古屋委員会

後援：愛知県、名古屋市、名古屋国際団体交流協議会、日本ユネスコ協会連盟など（予定）

大会テーマ：愛と知を奏でよう！— 日本のまん中で—

kongresa temo: Sonoru amo kaj saĝo! — el la meza Japanio —

日本エスペラント大会の伝統に立ちながら
ネット時代の大会のあり方を試みる

日本内外の多くの方より「コロナ禍の状況で、本当に日本大会が開催できるんですか？」というお問い合わせ、あるいは「延期したほうがいいですよ」というご忠告をいただいています。

私たち実行委員会も、3月の初めからこの問題について議論を重ね、通常に開催できるようぎりぎりまで準備を進めてまいりました。委員会の中でもいろいろな意見があり、本当に難しい判断を迫られました。結果、6月はじめの委員会では、「できる範囲で実施する。会場に足を運ぶのをためらっている人々のため、オンラインを使って参加できる方法を工夫する。また感染を防ぐためにいくつかの番組は中止し、会場が密にならないように対策を講じる」と決定しました。

国内的には感染状況は改善しつつありますが、第二波、第三波がやってくることはありえます。また世界的にはまだ感染拡大が続いている状況ですから、海外からの参加者は激減することが予想されます。従来であれば、「ぜひご参加ください！」とお願いするところですが、今回は無理は申し上げられません。それでも、オンライン参加という方法があります（大会参加事前申込者限定です）。直前案内で詳しく説明をいたしますが、パソコン・スマホ・タブレットで会場と自宅をつなぎます。海外ともオンラインでつながります。新しい技術で、大会のあり方も今後変わっていくでしょう。「ネット時代のエスペラント大会」を共有してみませんか？

（大会実行委員長 山口眞一）

▶ **プログラム一覧** (Eはエスペラント語)

- 9月20日 午前 鼎談・釜石からの報告
(日) 午後 開会式、日韓シンポジウム (E)、E入門講習、世界の楽器とおもちゃ、分科会
夕夜 E紹介講座、オカリナの夕べ、学力検定、日本語小講演、分科会
- 9月21日 午前 大会大学(E)、研究発表会、小坂賞講演、JEI会員総会、分科会
(月祝) 午後 E講演1・2、オンライン活用超入門、姉妹都市交流、分科会
夕夜 エスペラントで遊ぼう (スケラスパークとのタイアップ)
- 9月22日 午前 大会大学(E)、分科会
(火祝) 午後 E講演3、閉会式、大会後遠足B (名古屋エスペラントセンター見学)

全期間を通じて 大会書店、交流ブース、米川五郎パソコン版画展

- ◎E講演： 1. Markus Gabor (ハンガリー) "Sonoro de Amo kaj Saĝo"
2. Syauqi Ahmad Zulfauzi (インドネシア) "Esperanto en mi"
3. Trezoro Huang Yinbao (中国、UEA副会長) "UNESKO kaj Esperanto"

◎大会大学：川良日郎 (哲学)、田淵八洲雄 (英語教育学)、小川博仁 (言語学)
大信田丈志 (物理学)、山野裕 (応用化学)、他交渉中

▶ **参加者による分科会一覧** (略称)

仏教、在日韓国人被爆体験、ブリッジ、大本、キリスト者、エス語研究者の悲劇、紙芝居、盲人、点訳、国際E教育者連盟、SAT情勢討論、日本でのSAT大会、医学者・科学者、アジアの活動、八ヶ岳エスペラント館など

▶ **交流ブースの出店一覧**

エスペラント国際情報センター、沼津エスペラント会通信講座、ホリゾン出版、スケラスパークの売店、人間の言葉って何、ろずころーら、など

▶ **下記の番組はとりやめいたします**

大会後遠足A (一泊二日コース)、懇親会 (立食パーティ)
払い戻しのために事務局より後日連絡を差し上げます。
(今後、感染状況の変化によっては、さらに番組を中止する可能性があります。)

▶ **大会記念品**

- 1 伊藤俊彦著『歴史・文学・エスペラント』(名古屋エスペラントセンター刊)
- 2 シール“Oraj Delfenoj”(山田義デザイン)

▶ **宿泊および昼食について**

各自にて宿泊先をご手配下さい。宿泊情報をご入用の方はお問い合わせください。
昼食については、周辺に多くの飲食施設やコンビニがあります。弁当の手配はありません。

連絡先

日本エスペラント大会事務局
162-0042 東京都新宿区早稲田12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内
メール jek2020@jei.or.jp
電話 03-3203-4581 / ファックス 03-3203-4582

最新情報 (公式ウェブ) <https://jek2020.jei.or.jp> (Facebook) <http://fb.me/107JEK>

▶大会参加費など（7月31日 第二次締切 / 8月1日より参加費アップ）

大会参加費 期限→	2月末まで	7月末まで	8月から	備考（記念品ありは○）
(1)一般	5,500円	6,500円	7,500円	○
(2)障害者	3,000円			○
(3)家族	2,000円	3,000円	4,000円	
(4)青年・留学生	2,000円	3,000円		○青年は1985年以後生まれ
(5)中学生・高校生	1,000円	1,500円		○
(6)小学生以下	無料			
(7)外国から	2,000円			高校生以下は(5)(6)で
(8)不在参加	3,500円			○差額払い込みで実参加へ切替可
オプション（大会参加費に加えて、希望者のみ）				
(9)記念写真	1,000円	受付8月20日まで		
(10)懇親会（21日）	中止（払い込まれた分は返金します）			
(11)大会前遠足	現地で実費徴収（受付9月15日まで）			
(12)大会後遠足	中止（払い込まれた分は返金します）			
	名古屋エスプラントセンター見学：交通費実費（受付9月15日まで）			
(13)募集分科会	募集を締め切りました			
(14)交流サロン	一区画（テーブル半分）1,000円		受付7月末まで。机数に制限あり	
検定料（大会参加費と別に、希望者のみ）大会参加者でなくても受験できます				
(15)JEI学力検定試験	1級：6,000／2級：4,500／3級：3,000／4級：1,500 申込締切：9月5日（土）（点字試験は7月21日（火）締切）			

[取消・払戻規定] (1)～(8)の参加費は、主催者の責に帰すべき事由による不開催（短縮開催を含む）の場合を除き、いかなる場合であっても返還致しません。

▶大会冊子

直前や当日に参加登録の場合、大会冊子の発行部数には限りがあるため、受け取れない可能性があります。なるべく8月初旬までに大会参加登録をおすすめください。

▶申込み方法

参加費ほかを下記の口座にお支払い下さい。

◇郵便振替 00100-4-400372 日本エスプラント大会

*ゆうちょ銀行以外の金融機関から上記口座に払い込む場合

◇ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキユウ)支店 当座 0400372 日本エスプラント大会

※お支払い金額の内訳とローマ字のお名前を必ずご記載下さい。

専用の払込取扱票のご利用をおすすめします。JEI事務局での参加申込みも可能です。

入金確認後、メールまたは郵便で申込み確認書(Konfirmilo)をお送りします。大会参加者のお名前・居住国/都道府県等の情報は大会参加者名簿(紙版または電子版大会冊子に収録)に掲載されます。掲載を希望されない情報がある場合はお申込み時にかならずお知らせ下さい。

La 107a Japana Esperanto-Kongreso (Nagoya)

Dato: la 20a, 21a, 22a de septembro 2020

Kongresejo: WINC AICHI

5 minutojn piede de la stacidomo Nagoya

Kongresa Temo: "Sonoru amo kaj saĝo! — el la meza Japanio —"

Ni utiligos laŭeble retan rimedon por preventi la epidemion!

ĉefaj programeroj (provizoraj)

La 20an de septembro (dimanĉe)

Raporto el Kamaishi, Inaŭguro, Simpozio "por la rilato inter Japanoj kaj Koreoj",
Enkonduka kurso, "Ni ludu!" Prezentado de E, Ekzameno, Prelegeto, Fakaj kunsidoj,
Okarina koncerto

La 21an de septembro (lunde)

Kongresa universitato, Studraporta kunsido, Ĝenerala kunsido de JEL,
Prelego de premiito de Ossaka, (du) Preletoj en E, Enkonduko al reta agado,
Ĝemelaj urboj, Paradizo kun SukeraSparo, Fakaj kunsidoj

La 22an de septembro (marde)

Kongresa universitato, Prelego en E, Fakaj kunsidoj, Fermo,
Postkongresa ekskurso (al Nagoja E-Centro)

Preletoj en E : 1. Márkus Gábor (Hungario) "Sonoro de Amo kaj Saĝo"
2. Syauqi Ahmad Zulfauzi (Indonezio) "Esperanto en mi"
3. Trezoro Huang Yinbao (Ĉinio) "UNESKO kaj Esperanto"

Kongresa Universitato :

Kawara Hiro (filozofio), Ogawa Hirohito (lingvistiko), Oosida Takesi (fiziko),
Yamano Yutaka (kemio), Tabuti Yasuo (pedagogio)

Bedaŭrinde nuligitaj programeroj:

Postkongresa Ekskurso Dutaga kaj Bankedo

Memoraĵoj: Ito Toshihiko "Historio, Literaturo, Esperanto" (japanlingve)

Folio de glumarkoj de "Oraj Delfenoj" (desegnita de Jamada Tadaŝi)

Kotizoj

Partopreno el eksterlando: 2 000 enoj
Loĝantoj plenaĝulaj en Japanio: 6 500 enoj (ĝis la 31a de julio)
7 500 enoj (depost la 1a de aŭgusto)
Kunuloj: 3 000 enoj (ĝis la 31a de julio) / 4 000 enoj (depost la 1a de aŭgusto)
Handikapitoj: 3 000 enoj
Gejunuloj 35-jaraj aŭ malpli: 3 000 enoj

Pri detalaj informoj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

JP-162-0042 Tōkyō-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek2020@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582,

retejo: <https://jek2020.jei.or.jp> (Facebook) <http://fb.me/107JEK>

KOVIM-19 kaj buŝkovrilo

AIKAWA Setuko (Kioto)

KOVIM-19 estas mallongigo de “**korona-virusa malsano 2019**”. Ĝi estas nomo de malsano, kiun kaŭzas nova koronaviruso (alinome kronviruso). KOVIM-19 estis eltrovita en la fino de 2019 en Ĉinio kaj rapide disvastiĝis en la mondo. Pro la pandemio eĉ la Olimpiaj Ludoj, kiuj estis okazontaj en Tokio, prokrastiĝis unu jaron. En Esperantio oni prokrastis la Universalan Kongreson en Montrealo. Ĝi okazos post du jaroj.

Mi skribas ĉi tiun manuskripton en la fino de junio 2020. Dum la lastaj kvin monatoj novaĵoj pri KOVIM-19 estis ĉiutage informitaj. Ne estis eĉ unu tago, en kiu oni ne aŭdis per televido pri la malsano. Ne estis eĉ unu tago, en kiu oni ne vidis artikolon pri ĝi en ĵurnaloj.

Pri la malsano kaj pri la viruso ni jam legis multe en gazetoj Esperantaj. Mi do parolu ĉi tie ne pri la epidemio mem, sed pri buŝkovrilo por higieno, ĉar nun oni pli multe interesiĝas pri ĝi ol iam ajn antaŭe. (Ankaŭ la vorto “masko” povas esti uzata. “Buŝkovrilo” estas simple mia persona prefero.)

En Japanio vidi homon kun buŝkovrilo ne estis malofte. Kaj en trajnoj kaj sur stratoj ni vidas homojn kun buŝkovrilo. En vintro oni portas ĝin por eviti infektiĝon de gripo. Kaj en printempo suferantoj de alergia uzas ĝin kontraŭ polenoj.

Aataŭe buŝkovrilo estis el gazo, sed en la lastaj jardekoj pli ofte oni uzas tiun el plasta neteksita ŝtofo. Tiuspecan buŝkovrilon oni povas ĉiufoje forĵeti sen reuzo.

Kiam la epidemio montriĝis kiel grava problemo, komenciĝis

manko de buŝkovrilo. En apotekoj tuj elĉerpiĝis vendotaj buŝkovriloj. En televido, ĵurnaloj kaj en interreto abundis plendo pri tiu manko.

Baldaŭ homoj komencis mem fari buŝkovrilon el gazo aŭ ŝtofo. Iuj faris ĝin ne nur por si mem, sed komencis eĉ vendi. En interreto aperis amatoraj komercistoj, kiuj vendas buŝkovrilojn faritajn de si mem.

Dume la karakteroj de la nova viruso estis malkovritaj unu post alia danke al klopodo de specialistoj. Unu el la novaj eltrovoj estis, ke la viruso multe ekzistas en salivo. Nevideblaj eretoj de salivo de infektito portas viruson al alia homo. Nun oni konscias, ke buŝkovrilo utilas ne nur infektiĝi, sed ankaŭ ne infekti aliajn. Eĉ pli gravas ne infekti, ĉar ĉiu homo havas eblecon esti infektito sen simptomo kaj havi la viruson.

Oni komencis uzi buŝkovrilon el malmola plasto. Ĝi utilas bari saliverojn el la buŝo de la portanto, ol bari virusojn de aliaj homoj. En la foto vi vidas la plaston.

~~~~~  
Pri la nomo de la viruso:

Se ni prenas nomon laŭ etimologio, al mi ŝajnas ke “kronviruso” estas preferinda, ĉar la deveno de la vorto estas formo de krono. Se komuneco kun la scienca specnomo estas grava, oni prenu “koronaviruso” -n.

Ankaŭ “koronaviruso” kaj “korona viruso” estas uzataj, sed mi mem ne preferas ilin.



La maldekstraj estas mane kudritaj el ŝtofo.

La dekstra estas el malmola travidebla plasto.

## Ke の用法 (1)

沖 恵明 (兵庫県)

Ke は従属接続詞です。しかし、何か特定の意味のある接続詞ではなく、節の始まりを示すだけです。しかし、その ke 節は大変多様な働きをします。では、その多様な働きとはどのようなものなのかをみていきましょう。

### 1. 主語としての ke 節

• Estas admirinde, ke vi helpas handikapulojn.  
(あなたが障害者達を助けているのは称賛に値します)

主節 (Estas admirinde) において主語がないので副詞にしますが、実質的な主語は ke 節になります。

この文に主語として tio を使った文が、

Tio estas admirinda, ke vi helpas handikapulojn.  
参考：

“Plena Manlibro de Esperanta Gramatiko” (PMEG) の説明では、

「Kelkfoje oni uzas la vorteton *tio* kaj *ke*-frazon kunlabore :

- Ĉu *tio* estas vera, ke li mortigis sin?
- Okazis *tio*, ke la ŝtelinto forfuĝis.

En ĉi tiaj frazoj *tio* kaj la *ke*-frazo reprezentas la saman aferon. Oni povas nomi tion *helpa tio*, ĉar la vorto *tio* gramatike estas senbezona. Ĝi nur helpas al la klareco. Se oni uzas helpan *tio* kune kun subjekta *ke*-frazo, la *ke*-frazo iom emfaziĝas. El gramatika vidpunkto la *ke*-frazo rolas kiel klariga priskribo de *tio* (33.2.4). 後略

(訳) このような文例において、*tio* と *ke* 節は同じ事柄を示しています。それを *helpa tio* (補助の *tio*) と名付けることができます。なぜなら、単語 *tio* は文法的に必要ないからです。ただ、明確にすることを補助しているだけです。もし、補助的役割の *tio* を主語の *ke* 節と共に用いるなら、*ke* 節を少し強調する作用があります。しかし、文法上の観点から、*ke* 節は *tio* の説明的描写をする役割を担っているということです。

他の例として

• Min malĝojigis, ke ŝi transloĝiĝos al Londono en la venonta monato.

(来月、彼女がロンドンに引っ越すことが私

を悲しませた)

先に挙げられた文例の主節には全て自動詞が使われていますが、この文には他動詞が使われていますので、*ke* 節が主語であることが容易に理解できるでしょう。

• Ŝajnis al mi, ke li estas laca.  
(彼は疲れているようでした)

この文も

Tio ŝajnas al mi, ke li estas laca.

となり、自動詞が使われた先の文と同じ形式です。

### 2. 目的語としての ke 節

*ke* 節が目的語として使われるために、当然、主語が別にあり、動詞は他動詞でなければなりません。では、例文を見ていきましょう。

• Ŝi diris al mi, ke baldaŭ venos mia fratino.  
(まもなく私の姉 / 妹が来る、と彼女は私に言った)  
*ke* 節が目的語となっています。

• Mia amiko deziras, ke Masako edziniĝos al li.  
(私の友人は、昌子が彼の妻になることを望んでいる)

これも *ke* 節が目的語になります。

• Kiel ŝi sentos, se ŝi ekscios ke ŝia patrino decidis eksedziniĝi?

(もし、彼女の母親が離婚を決意したのを知ることになったら、どう感じるのでしょうか?)

*se* (従属接続詞) を使った節 *se ŝi ekscios ke ŝia patrino...* は従属節。

### 3. 同格としての ke 節 (名詞の描写)

• La fakto, ke ankaŭ mia intima amiko amas ŝin, donis al mi ŝokon.

(私の親友も彼女を愛しているという事実が私にショックを与えた)

主語 *fakto* の同格としての *ke* 節

• Mi estas tre feliĉa, ĉar mia edzino liveris al mi la informon, ke mia filo fine sukcesis eniri en la universitaton.

(私の息子がついにその大学に入ることに成功したという知らせを妻が私にもたらしてくれたので、私はとても幸せです)

目的語 *informon* の同格としての *ke* 節

(一口メモ)

「Mia patrino Joko iris al Osako. (私の母、洋子、は大阪に行きました)」の Joko が Mia patrino の

同格になります。つまり、Mia patrino を補足的に説明しています。

そして、ke 節が同格として認識される場合は、ke 節直前にある名詞の具体的な補足説明をしている節になります。

#### 4. 主格補語としての ke 節 (主語を説明し、補う)

・Ŝia rekomendo estas, ke mi skribos leteron al li.  
(彼女の勧めは、私が彼に手紙を書くことです)

ke 節が主語 rekomendo の補語になります。tio を ke 節の前において

Ŝia rekomendo estas tio, ke mi skribos leteron al li.

が元の文になりますが、Ŝia rekomendo estas, ke mi skribos leteron al li. という文は、tio を省略したと考えることができます。

#### 5. 目的格補語としての ke 節 (目的語を説明し、補う)

・Via filo rezultigis tion, ke mia filino sentas malĝojon.

(私の娘が悲しみを感じるという結果をあなたの息子が引き起こした)

この場合、tio を省略できます。そうすると、ke 節は目的語になります。

#### 6. 前置詞と組み合わせた ke 節

・Mia avino rakontis al mi pri tio, ke mia patro ŝatis manĝi bananon en sia infaneco.

(私の父が子供の頃、バナナを食べるのが好きだったということを祖母が私に語ってくれました)

・Masato laboradis tra tri tagoj por (tio) ke li povu gajni multe da mono.

(沢山のお金が稼げるよう、正人は三日間働き続けました)

tio が省略された形です。この場合、por ke で従属接続詞となります。

一般の前置詞と ke の組み合わせは、間に tio を入れますが、por tio, ke は tio を省略して por ke とすることができます。他に、anstataŭ, krom, malgraŭ, sen も tio を省略できます。全部で五つの前置詞だけです。他は、全て tio が要ります。なぜその五つだけが tio の省略ができるのでしょうか。PMEG では、それらは一般に受け入れられており、pri ke, kontraŭ ke, pro ke, antaŭ ke は非習慣的であるとのことで、議論的的となっているので、tio を使ってください、と書かれています。論

理的な説明ではないのですが、お互いを理解するためのツールである以上、そのルールや習慣的用法に従う必要があるでしょう。

これらの前置詞については、小西岳氏が『エスペラント文法の散歩道』の「3. 前置詞 + 動詞不定形」の中で前置詞 + ke(従属接続詞)についても取り上げており、動詞不定形の前に置く前置詞は、上記と同じ五つの前置詞だけが直接動詞不定形を従えることができるのと同様に、それらの前置詞だけが tio なしに、直接 ke を従えることができるとの説明があります。そして、前置詞 + 動詞不定形に関連して、「前置詞の多くは接頭辞としても用いられます。(後略)」と書かれています。興味ある方は、読んでみてください。

ところで、先の例文でも por ke の中の動詞は命令形を使うのが一般的です。もう一つ例を挙げましょう。

・Por ke mi povu bone kompreni la enhavon de la libro, mi petas vin detale klarigi al mi.

(その本の内容をよく理解できるように、詳しく説明してください)

このように por ke の中の動詞は、一般的に -u(命令形)を使います。 (続く)

### Kurantaj Vortoj

不要不急の外出は控えてください。 Detenu vin de eliro nenecesa aŭ neurĝa.

オンライン会議 retkursido

ワクチン vakcino

天然痘 variolo

牛痘 bova pokso

免疫 imuneco

抗原 antigeno, 抗体 antikorpo

超過死亡率 (実際の死亡率と推定値の差)

eksceso de mortokvanto

三日月 krescento ☾

半月 duonluno ☽

上弦の月 kreskanta luno ☽

凸月(とつげつ) ŝvela lumo (pli vasta ol duonluno)

満月 plena luno ○

下弦の月 malkreskanta luno ☾



## Konfidi Aŭtor-raĵton

Kelonio (Oosaka)

Foje oni donacas al KLEG k. a. parton de sia heredaĵo. Tio estas granda helpo al Esperanta movado. Mi tamen parolas ne pri ekonomia helpo, sed pri kultura heredaĵo.

Kopi-raĵto de verkoj estis protektata dum la vivo kaj 50 jarojn post la forpaso de la aŭtoro. Tial de la jaro 2018 oni povas libere eldoni la verkojn de Jui Ĉuunoŝin (由比 忠之進), kiu forpasis en 1967.

En la jaro 2018 Japanio ratifis la interkonsenton pri TPP (TransPacifika Partnero), kiu enhavas novan konvencion por protekto de verkoj. La protekto longiĝis ĝis 70 jaroj post la morto kaj sen permeso de pranepoj oni ne rajtas publikigi Esperantan version de "In einer kleinen Konditorei" (小さな喫茶店), ĉar la poeto Ernst Neubach vivis ĝis la jaro 1968 kaj la aŭtor-raĵto estos konservata ĝis 2038.

Imagu, ke iam kaj ion vi verkis kaj poste oni planas eldoni ian antologion. La redaktoro telefonas al vi. "Ĉu vi permesas aperigi vian novelon en la antologio?" Volonte vi akceptas.

Imagu tamen, ke jam vi ne estas en la mondo kaj la redaktoro ne trovas vian heredanton... "Bedaŭrinde tiu ĉi novelo estas perdita! Kun aliaj noveloj ni redaktu la antologion." La redaktoro forstrekas vian verkon kaj post 70 jaroj oni memoras nek vin, nek vian novelon.

Mi komencis aldoni al mia verko la permesilon "CC-by" (CC BY) (クリエイティブコモンズ「表示」), kiu signifas, ke ĉiu rajtas transsendi aŭ eldoni la verkon kun indiko de titolo kaj aŭtoro.

Cetere mi konfidas ĉiun aŭtor-raĵton al KLEG.

私、Kelonio は私の著作がすべての人に自由に無償で利用されることを望みます。私の死後または意思表示が困難になったときでも著作の利用に支障が生じないことの担保として、すべての著作権は、一般社団法人関西エスペラント連盟へ無償で譲渡します。

2020.8

## 第 94 回九州大会 10 月開催へ

新型コロナ禍で延期されていた第 94 回九州エスペラント大会は 10 月 24 日(土)～25 日(日)に開催することになった。講師の間宮緑さんはリモート参加、佐々木照央さんは実参加の予定。会場は予定通りグランティア太宰府。 [←武藤 たつこ]

## Monda Fest' 2020 アジア・オセアニアの日

モントリオールの世界エスペラント大会延期に伴い、新たな UEA の企画として Monda Fest' 2020 が始まった。6 月 26 日(金) 18 時～22 時には「アジア・オセアニアの日」「Tago de Azio kaj Oceanio」が Zoom 使用で開催され、100 人近くが参加した。

Monda Fest' 2020 の一環として 8 月 1 日(土)～8 日(土)に世界エスペラント仮想大会(Virtuala Kongreso de Esperanto)も開催される(UEA 会員はオンライン登録を: <https://vk.mondafest.net/>)。 [←北川 郁子、西永 篤史(KAOEM 委員長)]

## 近江エスペラント会総会

新型コロナウイルスのため、延期になっていた総会を 6 月 7 日(日)14 時～15 時半檜山秋彦さん宅で開催した。出席者は、4 人+紙上参加 1 人。

昨年度の活動報告と会計報告を了承した。今年度の活動計画として、数年来の念願である彦根での入門講習会を 10 月～12 月にかけて開催すること、また、例会会場を檜山さん宅に変更することを決めた。役員改選では会計が代わった以外は、全員留任となった。 [←大西 真一]

## 広島エスペラント会例会を再開

広島エスペラント会は 7 月 7 日(火) 14 時から光町エスペラントセンターで新型コロナ対策の長い休会のあと週例会を再開。曜日会員が参加しやすい毎週火曜日に変更した。例会常連のうち 2 人が車の運転をやめた。会の高齢化に最後の抵抗で、青年学生を呼び込む 2021 年の日本エスペラント大会を運動継承のチャンスにする。 [←忍岡 守隆]

## 「土曜エス会」は 6 月もオンライン開催

6 月の土曜エスペラント会は 13 日、今回もオンラ



インで開催した。出席 17 人。内 1 人はスイス在住の Mireille Grosjean (Mirejo) で、7 月末の「バーチャル・エスペラント会議 ILEI 2020」(<https://www.ilei.info>) について詳しく話してくれた。今回も 3 時間近くエスペラントでの興味深い発表と質疑応答を楽しんだ。主なテーマは、『モロトフ・カクテルをガンディーと』(『九月、東京の路上で』のエスペラント訳を出した出版社「ころから」の新刊で記者の吉田奈緒子さんはエスペランティスト)、「カテーテル・アブレーションで不整脈が消えた!」(私の体験談です)、「オンラインホワイトボード開発」(デモ付き)、「私のエスペランティスト生活」(エロシエンコ関連プロジェクトへの参加) だった。<https://sites.google.com/site/erosxenko125/files/fabeloj-de-erosxenko>

7 月の土曜エスペラント会は、第 2 土曜の 7 月 11 日 (15:15 ~ 17:45) に Zoom を使ったオンライン会議として開催。 [←山川 修一]

### ウェブサイトでエスペラント

☆京都三条ラジオカフェのウェブサイトで京都エスペラント会の地域ラジオ放送「エスペラントって何?」を聞ける。<http://radiocafe.jp/201603001/>

☆Glosbe エスペラント語 日本語 辞書 オンライン

<https://ja.glosbe.com/eo/ja>

☆エスペラント語知ってる? <https://www.cchantv/watch/c78e7a6a868d47d697dae04f6516b455/>

☆人工言語エスペラントについて語るぜ

<https://www.nicovideo.jp/watch/sm36431338>

☆エスペラント語で地下世界に行ってみた

<https://www.nicovideo.jp/watch/sm34533429>

以下 YouTube 動画など:

☆使用人口百万人!? 世界最高の人工言語『エスペラント語』 <https://youtu.be/q9TqsLEu8h4>

☆エスペラント談義 de(by) 熊蔵

<https://youtu.be/7Yb5uVvxroc>

☆エスペラントで一日の挨拶

<https://youtu.be/xZ0oOfUeWOQ>

☆君友ゆるしに質問

<https://youtu.be/3mHx3S4y2gg>

☆みんな大好きエスペラント

<https://youtu.be/RAzkwdRqD3Y>

☆マリーのナレーション動画『武器では地球を救えな

い〜エスペラント語を作ったザメンホフの物語〜』

<https://youtu.be/MWRBCdnEhjc>

☆エスペラント語で山頭火を聞こう! ~『山頭火と地蔵とエスペラント』より(著者による朗読)

[https://youtu.be/9Z13R\\_f70bU](https://youtu.be/9Z13R_f70bU)

☆200 フレーズ - エスペラント語 - 日本語 (広告あり)

<https://youtu.be/RG7LvzLMnmw>

☆Learn before Sleeping — Esperanto

<https://youtu.be/0aZwLSYIHC4>

[←甲斐 康一、北川 郁子、山野 敏夫ほか]

### 仏教聖典 WEB 公開

仏教伝道協会 (BDK) 発行の『仏教聖典』エスペラント版がネットからダウンロードできる。現在の版は第二版だが旧版と大きく変わっておらず、英訳改訂に準拠して部分的な差し替えを行った程度。日本エスペラント大会終了後、全面改訳をめざす。

<https://bdk-seiten.com/scripture-download.php> [←日本仏教エスペランティスト連盟 山口 真一]

### 日本エスペラント協会理事長交替

鈴木恵一朗さんから、北川郁子さんへ。

#### 第 107 回日本エスペラント大会

2020 年 9 月 20 日 (日) ~ 22 日 (火 / 祝)  
名古屋市、ウインクあいち

#### 第 94 回九州エスペラント大会

2020 年 10 月 24 日 (土) ~ 25 日 (日)  
グランティア太宰府

#### 第 68 回関西エスペラント大会

2020 年 11 月 14 日 (土) ~ 15 日 (日)  
高槻現代劇場

#### 第 105 回世界エスペラント大会

2021 年 7 月 17 日 (土) ~ 24 日 (土)  
北アイルランド・ベルファスト

#### 第 108 回日本エスペラント大会

2021 年 9 月 18 日 (土) ~ 20 日 (月 / 祝)  
広島市、アステールプラザ

#### 第 10 回アジア・オセアニアエスペラント大会

2022 年 韓国、期日未定

#### 第 106 回世界エスペラント大会

2022 年カナダ・モントリオール、期日未定

# Vortkruca enigmo

## Anonimulo

Vicigu adekvate 6 literojn trovitajn en la kvadratoj kun steleto. Tiam vi akiros meteorologian fenomenon agrablan.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de aŭgusto, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retpoŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

|    |    |  |    |    |    |    |   |
|----|----|--|----|----|----|----|---|
| 1  | 2  |  | 3  | 4  | 5  |    | 6 |
| 7  |    |  | 8  | *  |    | 9  |   |
| 10 |    |  |    | 11 | 12 |    |   |
| 13 |    |  | 14 | 15 | 16 |    |   |
| *  |    |  | *  |    |    |    | * |
|    | 17 |  | 18 | 19 |    |    |   |
| 20 | 21 |  | 22 |    | 23 | 24 |   |
|    | 25 |  |    | 26 |    | 27 |   |
| 28 |    |  | 29 | 30 | *  |    |   |
| 31 |    |  |    | 32 |    |    |   |

**Horizontale:** 1. Kemia elemento kun la simbolo "Al".(x) 7. Ĉu Trump estos ~elektita?(x) 8. Estis bone kon~, ke... 9. ~, kia diraĉo! 10. ~ por la sukceso. 11. Duoblo de du. 13. Birdo ~ kaĝo. 14. Multaj bestoj estas en ~o.(x) 16. Aparato,

maŝino. 18. Ho ~! 20. Mi respektas vin ~. 25. Aserti la malverecon. 26. Ĉiuj ~j krom mi tion kredis. 28. ~ botoj faras paron. 29. horloĝo ~ la muro. 31. ~ da pluvo revivigis la herbejon. 32. Li manĝis ~n dum tri tagoj.(x)

**Vertikale:** 1. Pokalo de ~o.(x) 2. ~o estas la reĝo de la bestoj.(x) 3. ~flokoj.(x) 4. La simfonio kompon~a de Betoveno.(x) 5. ~ arboj ~ herboj kreskas tie. 6. Ne virino. 9. ~ de la kurzo de la eno. 12. mi, ~, li kaj ŝi. 15. ~ de Kolumbo. 17. Li venis al mi tute ne atend~. 19. ~ mi mendis tro multe. 21. La gramo estas la ~ de pezo. 22. Li ~is al ŝi la manon.(x) 23. Ŝi trinkis ~ glaso. 24. Interjekcio uzata por esprimi iom malŝatan senzorgecon. 27. Mi volus ~ al laborejo aŭtomobile, sed... 28. Ĉiu el la superhomaj estaĵoj.(x) 30. Mallongigo de la nomo de internacia organizo.

La solvo al la junia enigmo: **TRANKVILA**

La ĝustan solvon donis 13 legantoj:

CA, TADA,

山野 敏夫、  
濱田 國貞、

Sayuri、  
島津 泰子、  
前藤 寛、  
にし のりこ、

本田 照美、  
平井 倭佐子、

Grebo、  
水渡 篤子、  
武藤 たつこ。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| M | O | V | A | D |   | N | O |   |
| E | V | I | T |   | M | O | N | O |
| M | A | T | E | M | A | T | I | K |
| O | L |   | N |   | S | I |   | C |
| R |   | V | O | S | T |   | V | I |
| I | D | E |   | A | R | B |   | D |
| G | U | T | I | G |   | E | S | E |
|   | E |   | A |   | K | S |   | N |
| U | T | I | L | A |   | T | U | T |

## Bondezirojn al vi (「ハッピーバースデー」の元歌から)

usona popolkanto (Good-Morning to All)

Bon-de - zi - rojn al vi, bon-de - zi - rojn al  
vi, en la da - to nas - ki - ĝa bon-de - zi-rojn al vi.  
(bon-de - zi - rojn [ *nomo*, ]) )

## Mikspoto

(当欄は敬称略)

★エスペラント訳源氏物語“Rakontaro de Genĝi”第一部が belmonto (やましたとしひろ) 訳で刊行された。

第1帖「桐壺」から第20帖「朝顔」まで、全400頁(A5版)。3500円、8月末まで送料無料。

注文はベルmonto

出版 <http://esperas.info/?mendo2> へ。



[← belmonto]

★駒込武編『生活綴方で編む「戦後史」<冷戦>とく越境の1950年代』、2020年6月岩波書店刊、406頁、4900円+税。

冷戦が忍び寄る1950年代に世界中の子どもの作文を集めて邦訳刊行するという、平凡社『世界の子ども』プロジェクトについて。作文集めと日本語訳に協力したエスペラント運動とエスペランティストのことも取り上げられている。

[←後藤 斉]

### 楽しい作文教室 10月号課題(8月20日締切)

- ①彼は運が悪いとこぼしている。
- ②彼はよく傘を列車に置き忘れる。
- ③昨日、彼は携帯を盗まれた。
- ④今日は蜂が彼の手を刺した。

(ヒント) 訴える plendi、列車 trajno、携帯 poŝtelefono. sorto, lasi, ŝteli を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] [c\\_tak@esperanto.ne.jp](mailto:c_tak@esperanto.ne.jp)  
(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

★日本仏教エスペランティスト連盟の機関誌“La Japana Budhano” は今年の3月に400号を発行した。「スッタ・ニパータで学ぶエスペラントと仏教(37)」などの記事がある。

299号以降のバックナンバー閲覧権限を希望する方は山口真一 (<[syam-z\(at\)wa2.so-net.ne.jp](mailto:syam-z(at)wa2.so-net.ne.jp)>) まで連絡を。

なお、7月現在、401号もすでに発行されている。

[←山口 真一]

★DEAR 開発教育センターの機関誌“DEAR News” に川崎エスペラント会の田中浩平が「国際語エスペラントを学んでみませんか」という記事を執筆。「ことのはアムリラート」で注目されていることから書き起こして、エスペラントを紹介している。

[←田平 正子]

## KLEG 事務局だより

★ KLEG は、「2020年活動年鑑」を発行しました。これは、当連盟の団体会員(加盟ロンドの正会員)と個人会員に配布されます。新たに入会した会員にもその都度配布されますので、該当するロンドは、事務局まで申し出てください。

★一度収束するかに見えた新型コロナウイルスが再び蔓延の兆しを見せています。熱中症も気になる中、ご自愛を。

★一度収束するかに見えた新型コロナウイルスが再び蔓延の兆しを見せています。熱中症も気になる中、ご自愛を。

### KLEG 後援会へのご寄付 (2020年6月、敬称略)

|        |          |
|--------|----------|
| Corona | 20,000 円 |
| 上月富佐子  | 1,200 円  |
| 柴山純一   | 600 円    |
| 石川尚志   | 200 円    |

ご支援、ありがとうございます。

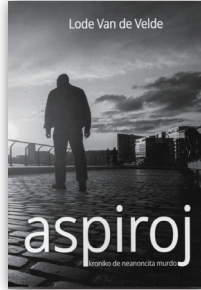
### 楽しい作文教室 (108) 成績

9人の方から応募がありました。( ) 内は留意事項です。

うん、良いね: Celejo, ヒー坊, Drako(③自動詞+対格)。

良いね: ikona, CA(④時制), Haveno(④時制), Eiko(④綴り), Ivajo(①ne 不足, ③綴り)。

もう一息: 水渡(②動詞重複, ④時制)。



## ★新刊・新着★

**Esperanto por mi** 500円  
世界の16人の肖像画—ヘルガ・プレトナーが描く Zaleski Zamenhof, Fettes, Dorbzyński, 堀泰雄らの肖像画にエッセーを添えて。A4判、16p.

**Ne forgesu mian voĉon** 1200円  
Julian Modestの最新小説集。突然姿を消した恋人の忘れられぬ声—ある愛の軌跡をたどる表題作他一編を収録。A5判、104p.

**Aspiroj** 2400円  
Kroniko de neanoncita murdo — Lode Van de Veldeの犯罪小説。あやしい登場人物が入り乱れ……。A5判、241p.

**Perrefleksa terapio kiel memhelpo** 2000円  
“Kion tuŝi, kiam io min doloras” Radka Dvorakováによる指圧の手引き。気になる症状・部位ごとにツボを示す写真も豊富。A5判、71p.

## ★ エスペラント、ザメンホフ、そして ★

**Esenco kaj estonteco de la ideo de lingvo internacia** 600円  
エスペラントの原点を示すザメンホフによる論文。

**ザメンホフ** 1890円  
小林司著。新資料と現地取材により書かれた評伝。

**希望する人** 300円  
土居智江子著。子どものためのザメンホフ伝。

**エスペラントとグローバル化** 900円  
タニヒロユキ論考集。「民際語」とはなにか。

**エスペラント運動を考える — La Movado 誌から** 1000円

本誌掲載の論説56編を収録(峰芳隆編)。運動の現在と将来を考えるための好個の一冊。

**中原脩司とその時代** 1800円  
野島安太郎著。戦前の雑誌“Tempo”編集者の回想。

## ★ 小西岳の訳で読む日本文学 ★

**Postmilita Japana Antologio** 1500円  
戦後日本文学選集(小田切秀雄解説)。小西訳は安部公房「闖入者」、野坂昭如「火垂るの墓」。

**Noveloj de Akutagawa Ryūnosuke** 1000円  
「蜘蛛の糸」「蜜柑」「早春」など対訳芥川集。

**Kuru, Melos!** 350円  
太宰治「走れメロス」。原作テキスト付き。

**Nokto de la Galaksia Fervojo** 1000円  
宮沢賢治「銀河鉄道の夜」「グスコブドリの伝記」「シグナルとシグナレス」など全5編。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

## 編集ノート



★例会はオズオズと再開へ? 大会などの行事は、まだまだネット利用だけです。

★楽譜は「ハッピーバースデー」。ただし元歌は必ずしも誕生日ではなく、“en la dato naskiĝa”を“bondezirojn al karaj”や“bondezirojn, Ludoviko”などに替えて歌えます。(島谷剛)

発行所:ラ・モバード社 編集:相川節子 発行人:染川隆俊 定価280円 送料63円 1年3800円 送料共  
 本局:一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204  
 電話(06)6841-1928 ファクス専用(06)6841-1955 電子メール:esperanto@kleg.org  
 振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ: http://www.kleg.org  
 九州支局:九州エスペラント連盟内 859-0407 長崎県諫早市多良見町シーサイド2-190 盛脇保昌方 電話(0957)43-4352  
 中国四国支局:中国四国エスペラント連盟内 771-0371 徳島県鳴門市北灘町榎木字観音面14-1 木谷奉子方 電話(088)688-1098